高耐力フレックスホールダウン60/〔2×4用〕高耐力フレックスホールダウン52　取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

高耐力フレックスホールダウン60

短期基準接合引張耐力（Pot）：**60.0kN**

〔2×4用〕高耐力フレックスホールダウン52

短期許容耐力：**52.97kN**

用　途

■ 土台･基礎と柱の緊結、柱と横架材の緊結、上下階の柱相互の緊結に使用します。（高耐力フレックスホールダウン60）

■ ツーバイフォー工法において基礎とたて枠の緊結、上下階のたて枠相互の緊結に使用します。（〔2×4用〕高耐力フレックスホールダウン52）

特　長

■ 高耐力の引抜きに対応可能です。

■ クロムフリー高耐食金属表面処理の「プロイズ」を採用し、環境に配慮した製品です。

付属品

■ 専用ビス YPR-85（Mブロンズ）×18本

■ 専用座金×1枚

ボルト･座金･ナット類について

本製品を使用する場合、必ず以下の高耐力専用金物（高耐力フレックスアンカーボルト、高耐力フレックス両引きボルト、高耐力座金60、高耐力高ナット）を併せてご使用ください。

高耐力専用金物

■ 高耐力フレックスアンカーボルト

型番	L	L1	L2
PZ-FA16-70	700	400	100
PZ-FA16-93	930	630	100

対応可能引張耐力：60.0kN以下

仕様条件

埋め込み長さ（mm）	300以上※
コンクリート幅（mm）	150以上
コンクリート設計基準強度（N/mm²）	Fc=21 以上

※ アンカー笠下からの長さ

■ 高耐力フレックス両引きボルト

■ 高耐力座金60

短期基準耐力

ベイマツ類：**60.0kN**

ヒノキ類　：**54.3kN**

スギ類　　：**41.8kN**

※木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年版）より算出。

※高耐力フレックスホールダウン60と高耐力専用金物を併用した場合の耐力を表記しています。

注意!!

〔2×4用〕高耐力フレックスホールダウン52と併用する場合は、各種検討の上ご使用ください。

■ 高耐力高ナット

高耐力フレックスアンカーボルトと高耐力フレックス両引きボルトを継ぐ場合は、高耐力高ナットをご使用ください。

施工方法

① 土台部のアンカーボルト(M16)や上下階の両引きボルト(M16)に本体を通します。
② 付属のビスで本体を柱または、たて枠に取付けます。
③ 付属の専用座金を入れ、ナットで締付けます。

<< 高耐力フレックスホールダウン60の例 >>

<< 〔2×4用〕高耐力フレックスホールダウン52の例 >>

注意事項

■ 必ず付属の専用ビス、専用座金を使用して接合してください。
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス・専用座金以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
※締めすぎに注意!!ビス頭が金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク(ねじ込み)を加えないでください。
■ 必ず高耐力専用金物をご使用ください。
※ナットは必ずボルトに付属された高耐力ナット(M16)または別売品の高耐力高ナットをご使用ください。
■ 高耐力フレックスアンカーボルトと高耐力フレックス両引きボルトを継ぐ場合、高耐力高ナットに各20mm以上かけてください。
■ 高耐力フレックスアンカーボルトの埋め込み長さはアンカー笠下300mm以上、基礎幅は150mm以上、コンクリート設計基準強度は21N/㎟以上にしてください。
■ 本製品は〔枠材用〕高耐力フレックスホールダウンと金物を共用していますが、接合ビスが異なりますのでご注意ください。
■ ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
■ ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
■ ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
■ 金物は所定の位置に取り付けてください。
■ 金物の干渉に注意しご使用ください。
■ 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
■ 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
■ 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
■ 目的用途以外には使用しないでください。

K20210219A

BXカネシン株式会社

本　　社 ／ 〒124-0022　東京都葛飾区奥戸 4-19-12　Tel.03-3696-6781　Fax.03-3696-6770
技術的なご相談は ／ BXカネシンCSセンター　Tel.03-5671-1077